

平成29年4月21日

各 位

会社名	株式会社デジタルデザイン
代表者名	代表取締役社長 安藤 潔 (コード：4764/JASDAQ)
問合せ先	業務推進グループ 成瀬 憲一 (TEL. 03-5259-5300)

### 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づく、平成29年1月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨の記載致しましたので、以下のとおりお知らせ致します。

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

経営者の適時開示に対する理解の欠如等により、適時に開示ができる体制が不十分であったこと、また、内部監査部門が機能しておらず、監査等委員との連携も十分になされておりました。

以上のことから、当社の全社的な内部統制、決算・財務報告プロセスの一部に重要な不備があり、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

#### 2. 事業年度末日までに是正できなかった理由

社内体制の整備および再構築に時間を要していたため、当事業年度末日時点までに是正できませんでした。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識し、財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備を是正するため、以下の再発防止策を策定し、実行に着手しております。

##### (1) 社内体制の整備および再構築

###### ① 情報開示体制の整備

情報開示体制を整備し、情報取扱責任者（担当役員）、情報管理者、開示担当者を選任したのち、担当者の役割、情報の報告経路を明確化し、同時に社内への周知徹底を実施しました。なお、「情報開示規則」の整備、適時開示

業務フローの明確化等も実施し、再発防止に努めております。

② 内部監査室の設置

内部監査室を設置し、担当役員および担当者を選任し、外部専門家の指導の下、全社的な内部統制を中心に内部監査および内部統制評価を実施しております。なお、今後は常勤監査役と定期的に連携を図り、効率的な内部監査や内部統制評価に努めてまいります。

(2) 教育プログラムの策定

全社の役職員を対象として教育プログラムを策定し、継続的に、外部研修機関の利用、並びに外部専門家による指導等により、情報開示および内部監査、内部統制に係る意識向上に取り組んでまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

当該連結財務諸表に与える影響はございません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上